

釜石市教育委員会と岩手大学地域防災研究センターの間において、令和5年5月29日（月）に「学校防災に関する協定」を締結しました。

東日本大震災後、岩手大学地域防災研究センターでは、地域の課題を卒業研究などのテーマとして取り組む地域課題解決プログラムなどを通して、土砂災害や風水害の出前授業などを実施してきました。

また、釜石市教育委員会が取り組んでいる防災教育の教材開発のための画像や動画などの提供も行っています。

なお、釜石市の小・中学校教員や釜石市教育委員会が今年度末を目標に取り組んでいる防災教育の手引きの改訂作業に協力しています。

協定の概要

協定における協力分野

- ・防災対策に関すること
- ・防災啓発に関すること

協力分野の各種連携事項

(1) 教育、研究及び訓練・研修等に関すること

☞例：「防災教育の手引き」の作成に係る研究、改定に係る助言など

(2) 岩手大学の教職員及び学生、釜石市教育委員会の職員等の交流に関すること

☞例：岩手大学生による出張授業など

(3) 岩手大学、釜石市教育委員会の資源を活用しての普及啓発に関すること

☞例：過去の災害に関する研究資料の共有等



岩手大学地域防災研究センター 小笠原敏記センター長／教授（左）と釜石市教育委員会 高橋勝教育長（右）